

受験番号						
------	--	--	--	--	--	--

午前の部

登録販売者試験

(平成26年 9月 7日 (日) 実施)

試験問題

医薬品に共通する特性と基本的な知識・・・ 問 1 ～ 問 20
 主な医薬品とその作用・・・・・・・・・・・・ 問21 ～ 問 60

注意事項

- 試験開始のアナウンスがあるまで、問題を開かないこと。
- 試験監督員のアナウンスにより、問題用紙の表紙に受験番号を記入するとともに、解答用紙に氏名及び受験番号（6桁）を記入すること。
 (注) ①受験番号は、算用数字で記入すること。
 ②解答用紙の「受験番号記入欄」には、受験番号に対応した数字をマークすること。
- 問題用紙は、表紙を除いて32ページある。試験開始後、乱丁等がないかを確認し、異常があるときは速やかに試験監督員に申し出ること。
- 各問題について、答えを一つ選び、その番号のカッコの中全体をHBより濃い黒鉛筆で濃くぬりつぶすこと。(下記(例)参照)

(例)【問150】

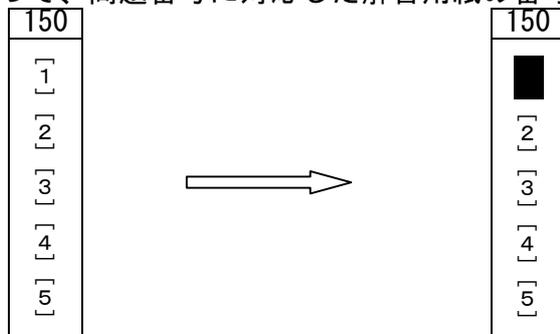
次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. $1+1=2$ である。
- b. $5-3=3$ である。
- c. $1\times 2=2$ である。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	誤	誤
3	正	正	誤
4	誤	正	誤
5	誤	誤	正

aは正、bは誤、cは正であるから、正しい答えは「1」となる。

よって、問題番号に対応した解答用紙の番号「150」欄の「1」を塗りつぶすこと。



なお、答えを修正した場合は、必ず消しゴムであとが残らないように完全に消すこと。鉛筆のあとが残った場合は、修正または解答したことにならないから注意すること。

- 解答用紙の<注意事項>もよく読んでおくこと。

医薬品に共通する特性と基本的な知識

【問 1】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 医薬品は、多くの場合、人体に取り込まれて作用し、効果を発現させるものである。
- b. 医薬品は、人の生命や健康に密接に関連するものであるため、人体に及ぼす作用がすべて解明されている。
- c. 医薬品は、人の疾病の治療に使用されるものであり、予防のために使用されるものではない。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	誤
3	正	誤	正
4	誤	正	正
5	誤	誤	正

【問 2】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 一般用医薬品は、添付文書や製品表示に必要な情報が記載されている。
- b. 登録販売者は、常に医薬品の有効性、安全性等に関する新しい情報の把握に努める必要がある。
- c. 医薬品に対しては製造販売後の調査及び試験の実施の基準（GPSP）と製造販売後安全管理の基準（GVP）が制定されている。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	誤
3	誤	正	正
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤

【問3】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 本来、疾病の治療や健康の増進を目的として使用される医薬品も、使用方法を誤ると健康被害を生じることがある。
- b. ヒトを対象とした臨床試験における効果と安全性の評価基準には、国際的に Good Laboratory Practice (GLP) が制定されている。
- c. 医薬品は、人の生命や健康に密接に関連するものであるため、高い水準で均一な品質が保証されていなければならない。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	誤	誤	正
4	正	誤	正
5	誤	正	誤

【問4】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 医薬品を扱う者は、健康食品は法的にも、また安全性や効果を担保する科学的データの面でも医薬品とは異なるものであることを認識し、消費者に指導・説明を行わなくてはならない。
- b. 一般用医薬品では日常生活に支障を来す程度の健康被害を生じることはない。
- c. アレルギーは、人体の免疫機構とは関係なく引き起こされる反応である。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	誤
4	誤	正	正
5	誤	誤	正

【問5】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 適切な使用がなされる限りは安全かつ有効な医薬品であっても、乱用された場合には薬物依存を生じることがある。
- b. 人体に直接使用されない医薬品についても、使い方や判断を誤った場合は、有害事象につながる可能性がある。
- c. 一般用医薬品は、定められた用量を超える量を服用しても、有害事象につながることはない。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	誤
4	誤	正	正
5	誤	誤	正

【問6】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 医薬品の相互作用は、代謝や分布等の過程で起こるものであり、医薬品が薬理作用をもたらす部位では起こらない。
- b. 酒類（アルコール）をよく摂取する者では、一般的に肝臓の代謝機能が高まっていることが多く、体内から医薬品が速く消失して十分な薬効が得られなくなることがある。
- c. 外用薬であっても、食品によって医薬品の作用や代謝に影響を受ける可能性がある。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	正
3	誤	正	正
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤

【問7】

次の a～d の記述について、正しいものの組み合わせを下の 1～5 から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 医薬品の使用上の注意等において、乳児、幼児、小児という場合には、おおよその目安として、乳児は1歳未満、幼児は7歳未満、小児は12歳未満の年齢区分が用いられている。
- b. 小児は、大人と比べて身体の大きさに対して腸が長く、服用した医薬品の吸収率が相対的に高い。
- c. 小児は、大人と比べて血液脳関門が未発達であるため、循環血液中に移行した医薬品の成分が脳に達しにくい。
- d. 乳児の疾患においては、基本的には医師の診療を受けることが優先され、一般用医薬品による対処は最小限にとどめるのが望ましい。

1. (a, b) 2. (a, c) 3. (a, d) 4. (b, c) 5. (b, d)

【問8】

次の a～d の記述について、正しいものの組み合わせを下の 1～5 から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 高齢者の副作用を生じるリスクの程度は年齢のみから判断できる。
- b. 一般に高齢者は生理機能が衰えつつあるため、一般用医薬品を使用する際は、原則として定められた用量の範囲よりも少ない用量で使用しなければならない。
- c. 高齢者は、持病（基礎疾患）を抱えていることが多く、一般用医薬品の使用によって基礎疾患の症状が悪化したり、治療の妨げとなる場合がある。
- d. 医薬品の使用上の注意等において「高齢者」という場合には、おおよその目安として65歳以上を指す。

1. (a, b) 2. (a, d) 3. (b, c) 4. (b, d) 5. (c, d)

【問9】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 胎盤には、胎児の血液と母体の血液とが混ざらない仕組みとして、血液-胎盤関門があるが、どの程度医薬品の成分の胎児への移行が防御されるかは、未解明のことも多い。
- b. ビタミンA含有製剤のように、妊娠前後の一定期間に通常の容量を超えて摂取すると胎児に先天異常を起こす危険性が高まるとされているものがある。
- c. 医薬品の種類によっては、授乳婦が使用した医薬品の成分の一部が乳汁中に移行することが知られている。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	誤
3	正	正	正
4	誤	正	正
5	誤	誤	正

【問10】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 複数の疾病を有する人では、疾病ごとにそれぞれ医薬品が使用される場合が多く、医薬品同士の相互作用に関して特に注意が必要となる。
- b. 一般用医薬品において、かぜ薬と解熱鎮痛薬では成分や作用が重複することが多く、通常、併用は避けることとされている。
- c. 医薬品の副作用は、薬理作用による副作用とアレルギー（過敏反応）に大別することができる。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	誤
4	誤	正	正
5	誤	誤	正

【問 1 1】

次の a ~ c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. プラセボ効果は、医薬品を使用したこと自体による楽観的な結果への期待（暗示効果）や、条件付けによる生体反応、時間経過による自然発生的な変化（自然緩解など）等が関与して生じると考えられている。
- b. プラセボ効果によってもたらされる反応や変化は、望ましいもの（効果）だけである。
- c. プラセボ効果は、客観的に測定可能な変化として確実に現れる。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	誤
4	誤	正	正
5	誤	誤	正

【問 1 2】

医薬品の品質に関する次の a ~ c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 医薬品が保管・陳列される場所については、清潔性が保たれるとともに、その品質が十分保持される環境となるよう留意される必要がある。
- b. 適切な保管・陳列をすれば、経時変化による品質の劣化は起こらない。
- c. 一般用医薬品は、購入後すぐに使用されるとは限らないため、外箱等に記載されている使用期限から十分な余裕をもって販売等がなされることが重要である。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	誤	誤	正
4	正	誤	正
5	誤	正	誤

【問 1 3】

次の記述について、a～cの（ ）に入れるべき字句の正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

一般用医薬品の役割としては、（ a ）疾病に伴う症状の改善、生活の質（QOL）の改善・向上などがあり、医療機関での（ b ）体調の不調や疾病の初期段階、あるいは日常において、（ c ）疾病の診断、治療若しくは予防又は生活質の改善・向上を図ることを目的としている。

	a	b	c
1	軽度な	治療を受けるほどではない	生活者が自らの
2	軽度な	治療を受けている人の	生活者が自らの
3	軽度な	治療を受けるほどではない	医師が
4	重度な	治療を受けている人の	医師が
5	重度な	治療を受けている人の	生活者が自らの

【問 1 4】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 「セルフメディケーション」には、専門家による適切なアドバイスの下、身近にある一般用医薬品を利用する考え方がある。
- b. 一般用医薬品の購入者等に対する情報提供は、必ずしも医薬品の販売に結びつけるのでなく、医療機関の受診を勧めたり（受診勧奨）、医薬品の使用によらない対処を勧めることが適切な場合がある。
- c. 一般用医薬品で対処可能な範囲は、乳幼児や妊婦等、医薬品を使用する人によって変わってくるものである。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	誤
3	正	誤	正
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

【問 1 5】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 購入者側に情報提供を受けようとする意識が乏しい場合には、コミュニケーションを図る必要はない。
- b. 登録販売者においては、購入者等が自分自身や家族の健康に対する責任感を持ち、適切な医薬品を選択して適正に使用するよう働きかけていくことが重要である。
- c. すぐに医薬品を使用する状況にない場合は、購入者等に対して、実際に使用する際に、改めて添付文書等に目を通すよう促すことが重要である。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	誤
3	正	誤	正
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

【問 1 6】

登録販売者が一般用医薬品の購入者から確認しておきたい基本的なポイントに関する次の a～d の記述について、正しいものの組み合わせを下の 1～5 から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. その医薬品を使用する人が、妊婦であるかどうかを確認した。
- b. その医薬品を使用する人の両親及び兄弟の年齢を確認した。
- c. その医薬品を使用する人の血液型を確認した。
- d. その医薬品を何のために購入しようとしているかを確認した。

1. (a , b) 2. (a , d) 3. (b , c) 4. (b , d) 5. (c , d)

【問 17】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. サリドマイド訴訟とは、サリドマイド製剤を使用したことにより亜急性脊髄視神経症に罹患したことに対する損害賠償訴訟である。
- b. サリドマイドには、光学異性体があり、一方の異性体には鎮静作用、他方には血管新生を妨げる作用があるとされている。
- c. 日本では、サリドマイド製剤の副作用について海外で警告が発せられてから販売停止及び回収措置が行われるまでの対応の遅さが問題視された。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	誤
4	誤	正	正
5	誤	誤	正

【問 18】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. スモンはその症状として、初期には腹部の膨満感から激しい腹痛を伴う下痢を生じ、次第に下半身の痺れや脱力、歩行困難等が現れる。
- b. スモンの原因とされているキノホルム製剤は、解熱鎮痛薬として販売されていた。
- c. スモン訴訟を契機の一つとして、日本では医薬品の副作用による健康被害の迅速な救済を図るため、医薬品等安全性情報報告制度が創設された。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	誤
4	誤	正	正
5	誤	誤	正

【問19】

HIV訴訟に関する次のa～dの記述について、正しいものの組み合わせを下の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. HIV訴訟は、血友病患者が、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）が混入した原料血漿から製造された血液凝固因子製剤の投与を受けたことにより、HIVに感染したことに対する損害賠償訴訟である。
- b. 製薬企業のみが被告として提訴された。
- c. HIV訴訟の和解を踏まえ、製薬企業に対し、医薬品の副作用報告が初めて義務づけられた。
- d. HIV訴訟を契機に、国は、エイズ治療研究開発センター及び拠点病院の整備を行った。

1. (a, b) 2. (a, d) 3. (b, c) 4. (b, d) 5. (c, d)

【問20】

次の1～5の記述について、誤っているものを一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

※ CJDとはクロイツフェルト・ヤコブ病をいう。

- 1. CJDは、次第に認知症に類似した症状が現れ、死に至る重篤な神経難病である。
- 2. CJDは、タンパク質の一種であるプリオンが原因であるとされている。
- 3. CJDは、プリオン不活化のための化学的処理が十分行われないうまま流通したヒト乾燥硬膜を、脳外科手術で移植された患者に発生した。
- 4. CJD訴訟は既に和解が成立している。
- 5. CJD訴訟を契機として、医薬品副作用被害救済制度が創設された。

主な医薬品とその作用

【問 2 1】

次の a ~ c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 小建中湯は、痰が切れにくく、ときに強く咳こみ、又は咽頭の乾燥感があるものの気管支炎、から咳、気管支喘息、咽頭炎、しわがれ声に適する。
- b. リゾチーム塩酸塩は、鶏卵アレルギーがある人では使用を避ける必要がある。
- c. ブロメラインは、タンパク質分解酵素で、鼻粘膜や喉の炎症による腫れを和らげる作用がある。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	誤
4	誤	誤	正
5	誤	正	正

【問 2 2】

次の a ~ c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. インフルエンザ（流行性感冒）は、感染力が強く、また、重症化しやすいため、かぜとは区別して扱われる。
- b. かぜ薬の服用期間中の飲酒は、その成分の吸収や代謝に影響を与えるため、飲酒を控える必要がある。
- c. スクラルファートには、咳を抑える作用がある。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	正	正
3	正	誤	誤
4	誤	誤	正
5	誤	正	正

【問 2 3】

次の記述について、a～cの（ ）に入る字句の正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

エテンザミドは、痛みの発生を抑える働きが作用の中心となっている他の解熱鎮痛成分に比べ、痛みが神経を伝わっていくのを抑える働きが（ a ）ため、作用の仕組みの違いによる相乗効果を期待して、他の解熱鎮痛成分等と組み合わせることが多い。例えば、（ b ）、（ c ）、エテンザミドの組み合わせは、それぞれの頭文字から「ACE処方」と呼ばれる。

	a	b	c
1	弱い	アセトアミノフェン	コデイン
2	弱い	アスピリン	カフェイン
3	強い	アセトアミノフェン	カフェイン
4	強い	アスピリン	コデイン
5	強い	アセトアミノフェン	コデイン

【問 2 4】

次の漢方処方製剤のうち、構成生薬としてカンゾウを含まないものを次の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

1. 桂枝加朮附湯 けいしかじゆつぶとう
2. 釣藤散 ちようとうさん
3. 呉茱萸湯 ごしゆゆとう
4. 薏苡仁湯 よくいじんとう
5. 疎経活血湯 そけいかっけつとう

【問25】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. ブロモバレリル尿素（ブロムワレリル尿素）は脳の興奮を抑え、痛覚を鈍くする作用がある。
- b. ジフェンヒドラミン塩酸塩は睡眠改善薬として、小児にも安心して使用できる。
- c. 抗ヒスタミン成分を主薬とする催眠鎮静薬は、睡眠改善薬として、慢性的に不眠症状がある人を対象としたものである。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	誤
3	正	誤	正
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

【問26】

眠気防止薬に関する次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. カフェインを反復摂取すると、依存を生じる場合がある。
- b. 授乳期間中はカフェインの総摂取量が継続して多くならないよう留意する。
- c. 眠気防止薬におけるカフェインの1回摂取量は、カフェインとして500mg、1日摂取量はカフェインとして1, 500mgが上限とされている。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	誤
4	誤	正	正
5	誤	誤	正

【問27】

鎮暈薬（乗物酔い防止薬）に関する次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 抗ヒスタミン成分は、延髄にある嘔吐中枢への刺激や内耳の前庭における自律神経反射を抑える作用を示す。
- b. ジプロフィリンは胃粘膜への麻酔作用によって嘔吐刺激を和らげることを目的として用いられる。
- c. カフェインは、脳に軽い興奮を起こさせて、平衡感覚の混乱によるめまいを軽減させることを目的として用いられる。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	誤	誤	正
4	正	誤	正
5	誤	正	誤

【問28】

小児の疳を適応症とする生薬製剤・漢方処方製剤（小児鎮静薬）に関する次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 小児鎮静薬は、夜泣き、ひきつけ、疳の虫等の症状を鎮めるほか、小児における虚弱体質、消化不良などの改善を目的とする医薬品である。
- b. 漢方処方製剤として、抑肝散がある。
- c. ゴオウは、緊張や興奮を鎮め、また、血液の循環を促す作用等を期待して用いられる。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	誤
4	誤	正	正
5	誤	誤	正

【問29】

次のa～cは鎮咳去痰薬に配合される成分について記述したものである。該当するものの正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 延髄の咳嗽中枢に作用して、咳を抑えることを目的とする成分である。
- b. 交感神経系を刺激して気管支を拡張させる作用を示し、呼吸を楽にして咳や喘息の症状を鎮めることを目的として用いられる。
- c. 粘液成分の含量比を調整し痰の切れを良くする成分である。

	a	b	c
1	リゾチーム塩酸塩	メチルエフェドリン塩酸塩	トラネキサム酸
2	リゾチーム塩酸塩	ブロムヘキシン塩酸塩	トラネキサム酸
3	チペピジンヒベンズ酸塩	メチルエフェドリン塩酸塩	トラネキサム酸
4	チペピジンヒベンズ酸塩	ブロムヘキシン塩酸塩	L-カルボシステイン (カルボシステイン)
5	チペピジンヒベンズ酸塩	メチルエフェドリン塩酸塩	L-カルボシステイン (カルボシステイン)

【問30】

次の1～5の中から麻薬性鎮咳成分を一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1. コデインリン酸塩
- 2. ノスカピン塩酸塩
- 3. デキストロメトルファン臭化水素酸塩
- 4. ジメモルファンリン酸塩
- 5. クロペラスチン塩酸塩

【問31】

口腔咽喉薬、うがい薬（含嗽薬）に関する次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. トローチ剤は、口中に含み、^か嚙まずにゆっくり溶かすようにして使用されることが重要である。
- b. セチルピリジニウム塩化物は、芳香による清涼感を目的として用いられる。
- c. 炎症を生じた粘膜組織の修復を促す作用を期待して、アズレンスルホン酸ナトリウム（水溶性アズレン）が配合される場合がある。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	誤
3	正	誤	正
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤

【問32】

次の表は、ある胃腸薬に含まれている成分の一覧である。

この胃腸薬に含まれている成分とその配合目的・作用に関する次のa～dの記述について、正しいものの組み合わせを下の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

1日9錠中	
タカヂアスターゼ（タカヂアスターゼN1）	150mg
リパーゼ（リパーゼAP12）	60mg
アカメガシワエキス	63mg
〔アカメガシワとして	504mg〕
カンゾウ末	150mg
ケイ酸アルミン酸マグネシウム	720mg
合成ヒドロタルサイト	300mg
水酸化マグネシウム	600mg
ロートエキス	30mg
オウバク末	105mg
ケイヒ末	225mg
ウイキョウ末	60mg
チョウジ末	30mg
ショウキョウ末	75mg
メントール	9mg

成分

配合目的・作用

- | | |
|---------------|---|
| a. アカメガシワ | ・・・消化管内容物中に発生した気泡の分離を促す。 |
| b. 合成ヒドロタルサイト | ・・・脂質の分解に働く酵素を補う。 |
| c. ロートエキス | ・・・副交感神経の伝達物質であるアセチルコリンの働きを抑えることにより、過剰な胃液の分泌を抑える。 |
| d. オウバク | ・・・味覚や嗅覚を刺激して、反射的な唾液や胃液の分泌を促すことにより、弱った胃の働きを高める。 |

1. (a, b) 2. (a, d) 3. (b, c) 4. (b, d) 5. (c, d)

【問33】

胃薬に配合される成分に関する次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. テプレノンは、まれに重篤な副作用として肝機能障害を起こすことがある。
- b. アルジオキサは、透析を受けている人では使用を避ける必要がある。
- c. ピレンゼピン塩酸塩は、消化管の運動にはほとんど影響を与えずに胃液の分泌を抑える作用を示すとされる。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	誤
3	正	誤	正
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

【問34】

瀉下成分として配合されるものを次の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1. アクリノール
- 2. ビサコジル
- 3. ベルベリン塩化物
- 4. ロペラミド塩酸塩
- 5. 次没^{もつしよくし}食子酸ビスマス

【問35】

胃腸鎮痛鎮痙薬に配合される成分に関する次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. パパペリン塩酸塩は、消化管の平滑筋に直接働いて胃腸の痙攣を鎮める作用を有する。
- b. オキセサゼインは、胃腸鎮痛鎮痙薬と制酸薬の両方の目的で使用される。
- c. 重大な事故につながるおそれがあるため、抗コリン成分が配合された医薬品を使用した後は、乗物又は機械類の運転操作を避ける必要がある。

	a	b	c
1	誤	誤	正
2	正	誤	誤
3	誤	正	正
4	正	正	正
5	誤	正	誤

【問36】

浣腸薬に関する次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 注入剤の薬液は冷やしてから使用すると、不快感を生じることが少ない。
- b. 注入剤の半量等を使用する用法がある場合、残量を再利用すると感染のおそれがあるので使用後は廃棄する。
- c. 炭酸水素ナトリウムは、直腸内で徐々に分解して炭酸ガスの微細な気泡を発生することで直腸を刺激する作用を期待して用いられる。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	誤
3	誤	正	正
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤

【問37】

次のa～cは強心薬に配合される成分について記述したものである。該当するものの正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. ウシ科のウシの胆嚢^{のう}中に生じた結石を基原とする生薬で、強心作用のほか、末梢血管の拡張による血圧降下、興奮を鎮める等の作用があるとされる。
- b. シカ科のマンシュウアカジカ又はマンシュウジカの雄のまだ角化していない、もしくは、わずかに角化した幼角を基原とする生薬で、強心作用の他、強壯、血行促進等の作用があるとされる。
- c. ヒキガエル科のシナヒキガエル等の毒腺の分泌物を集めたものを基原とする生薬で、微量で強い強心作用を示す。

	a	b	c
1	ゴオウ	リュウノウ	センソ
2	ゴオウ	ロクジョウ	センソ
3	ジャコウ	リュウノウ	センソ
4	ジャコウ	ロクジョウ	シンジュ
5	ジャコウ	リュウノウ	シンジュ

【問38】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 高密度リポタンパク質（HDL）は、コレステロールを肝臓から末梢組織へと運ぶリポタンパク質である。
- b. 高コレステロール改善薬は、ウエスト周囲径（腹囲）を減少させるなどの瘦身^{そう}効果を目的とする医薬品ではない。
- c. 大豆油不^{けん}飽化物（ソイステロール）には、腸管におけるコレステロールの吸収を抑える働きがあるとされる。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	誤
4	誤	正	正
5	誤	誤	正

【問39】

貧血用薬（鉄製剤）に関する次のa～dの記述について、正しいものの組み合わせを下の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 服用の前後30分にタンニン酸を含む飲食物を摂取すると、鉄の吸収が良くなる。
- b. 銅はヘモグロビンの産生過程で、鉄の代謝や輸送に重要な役割を持つ。
- c. コバルトは赤血球ができる過程で必要不可欠なビタミンB₂の構成成分である。
- d. ビタミンCは、消化管内で鉄が吸収されやすい状態に保つことを目的として用いられる。

1. (a, b) 2. (a, c) 3. (a, d) 4. (b, c) 5. (b, d)

【問40】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. コウカには、末梢の血行を促して鬱血を除く作用があるとされる。
- b. ルチンは、高血圧等における毛細血管の補強、強化の効果を期待して用いられる。
- c. 三黄瀉心湯さんおうしゃしんとうは、構成生薬としてダイオウを含まない。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	誤
3	誤	正	正
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤

【問4 1】

外用痔疾用薬に配合される成分に関する次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 痔に伴う痛み・痒みを和らげることを目的として、ジブカイン塩酸塩等の局所麻酔成分が用いられる。
- b. 痔による肛門部の創傷の治癒を促す効果を期待して、クロタミトンのような組織修復成分が用いられる。
- c. 痔疾患に伴う局所の感染を防止することを目的として、テトラヒドロゾリン塩酸塩等の殺菌消毒成分が配合される場合がある。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	誤
4	誤	誤	正
5	誤	正	正

【問4 2】

泌尿器用薬に配合される成分のうち、尿路の殺菌消毒効果を期待して用いられる成分を次の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1. ウワウルシ
- 2. サンキライ
- 3. キササゲ
- 4. モクツウ
- 5. ブクリョウ

【問43】

次の記述について、a～cの（ ）に入る字句の正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

加味逍遙散^{かみしょうようさん}は、体力中等度以下でのぼせ感があり、肩がこり、疲れやすく、精神不安やいらだちなどの精神神経症状、ときに便秘の傾向のあるものの冷え症、虚弱体質、（ a ）^か、更年期障害、血の道症、不眠症に適するとされるが、胃腸の（ b ）^か人では悪心（吐きけ）、嘔吐^{おう}、胃部不快感、下痢等の副作用が現れやすい等、不向きとされる。まれに重篤な副作用として、（ c ）^かを生じることが知られている。

	a	b	c
1	月経不順、月経困難	強い	肝機能障害
2	月経不順、月経困難	弱い	間質性肺炎
3	前立腺肥大	弱い	肝機能障害
4	前立腺肥大	強い	間質性肺炎
5	月経不順、月経困難	弱い	肝機能障害

【問44】

次の表は、ある鼻炎用内服薬に含まれている成分の一覧である。

この鼻炎用内服薬に含まれている成分とその配合目的・作用に関する次の a～d の記述について、正しいものの組み合わせを下の 1～5 から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

1 日量 3 カプセル中	
メキタジン	4 m g
プソイドエフェドリン塩酸塩 (塩酸プソイドエフェドリン)	7 5 m g
ベラドンナ総アルカロイド	0. 4 m g
グリチルリチン酸二カリウム	6 0 m g
無水カフェイン	1 5 0 m g

成分

配合目的・作用

a. メキタジン

・・・ヒスタミンが受容体と反応するのを妨げることにより、ヒスタミンの働きを抑える。

b. プソイドエフェドリン塩酸塩 (塩酸プソイドエフェドリン)

・・・皮膚や粘膜の健康維持・回復に重要なビタミンを補給することを目的とする。

c. ベラドンナ総アルカロイド

・・・鼻腔内の粘液分泌腺からの粘液の分泌を抑える。

d. グリチルリチン酸二カリウム

・・・交感神経系を刺激して鼻粘膜の血管を収縮させることによって鼻粘膜の充血や腫れを和らげる。

1. (a , b) 2. (a , c) 3. (b , c) 4. (b , d) 5. (c , d)

【問45】

アレルギー用薬に関する次の a～d の記述について、正しいものの組み合わせを下の 1～5 から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 内服薬と外用薬において、同種の作用を有する成分が重複することがあるが、投与経路が違うので、併用しても特に問題はない。
- b. 母乳を与える女性がジフェンヒドラミン塩酸塩を含む一般用医薬品を服用しても、乳児には全く影響がない。
- c. 排尿困難の症状がある人は、抗ヒスタミン成分を含む一般用医薬品の服用により、症状の悪化を招くおそれがある。
- d. 一般用医薬品のアレルギー用薬は、主に一時的な症状の緩和に用いられる。

1. (a , b) 2. (a , c) 3. (b , c) 4. (b , d) 5. (c , d)

【問46】

次の a～c は鼻炎用点鼻薬に配合される成分について記述したものである。該当するものの正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 交感神経系を刺激して鼻粘膜を通っている血管を収縮させることにより、鼻粘膜の充血や腫れを和らげることを目的として配合される。
- b. 肥満細胞から、ヒスタミンの遊離を抑える作用を示し、花粉、ハウスダスト（室内塵）等による鼻アレルギー症状の緩和を目的として配合される。
- c. 鼻粘膜を清潔に保ち、細菌による二次感染を防止することを目的として配合される。

	a	b	c
1	フェニレフリン塩酸塩	クロモグリク酸ナトリウム	ベンザルコニウム塩化物
2	フェニレフリン塩酸塩	ナファゾリン塩酸塩	リドカイン
3	ケトチフェン	クロモグリク酸ナトリウム	ベンザルコニウム塩化物
4	ケトチフェン	ナファゾリン塩酸塩	ベンザルコニウム塩化物
5	フェニレフリン塩酸塩	クロモグリク酸ナトリウム	リドカイン

【問47】

点眼薬に関する次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 通常、無菌的に製造されており、点眼の際に容器の先端が眼瞼^{けん}（まぶた）等に触れないように注意しながら1滴ずつ正確に点眼する。
- b. 点眼後は、数秒間、眼瞼^{けん}（まぶた）を閉じないで、薬液を結膜囊^{のう}内に行き渡らせるのがよい。
- c. 点眼薬の容器に記載されている使用期限は、未開封の状態におけるものであり、容器が開封されてから長期間を経過した製品は、使用を避けるべきである。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	正
3	正	誤	誤
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

【問48】

点眼薬に関する次の記述に該当する成分を下の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

細菌感染（ブドウ球菌や連鎖球菌）による結膜炎やものもらい（麦粒腫）、眼瞼炎^{けん}などの化膿^{のう}性の症状の改善を目的として用いられる。なお、すべての細菌に対して効果があるというわけではなく、また、ウイルスや真菌の感染に対する効果はないので、3～4日使用しても症状の改善がみられない場合には、眼科専門医の診療を受けるなどの対応が必要である。

- 1. リゾチーム塩酸塩
- 2. スルファメトキサゾール
- 3. イプシロン - アミノカプロン酸
- 4. アラントイン
- 5. ヒドロキシプロピルメチルセルロース

【問49】

皮膚に用いる薬に関する次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 貼付剤を同じ部位に連続して貼付すると、かぶれ等が生じやすくなる。
- b. 外皮用薬を一定期間使用しても症状の改善がみられない場合には、専門家に相談することが重要である。
- c. 人間の外皮表面には、化膿の原因となる「皮膚常在菌」が存在しているため、創傷部に殺菌消毒薬を繰り返し適用する必要がある。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	誤
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤

【問50】

皮膚に用いる薬に関する次の a～d の記述について、正しいものの組み合わせを下の 1～5 から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. アクリノールは、真菌やウイルスに対して優れた殺菌消毒作用を示す。
- b. ウフェナマートは、炎症を生じた組織に働いて、細胞膜の安定化、活性酸素の生成抑制などの作用により、抗炎症作用を示すと考えられている。
- c. ブテナフィン塩酸塩は、皮膚糸状菌の細胞膜を構成する成分の産生を妨げることにより、その増殖を抑える。
- d. カプサイシンは、創傷面に浸透して、その部位を通っている血管を収縮させることによる止血効果を期待して用いられる。

1. (a , b) 2. (a , c) 3. (b , c) 4. (b , d) 5. (c , d)

【問5 1】

歯痛・歯槽膿漏薬に配合される成分に関する次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. チモールは、歯周組織の血行を促す効果を期待して配合される場合がある。
- b. カルバゾクロムは、炎症を起こした歯周組織からの出血を抑える作用を期待して配合される場合がある。
- c. アミノ安息香酸エチルは、齶蝕により露出した歯髄を^う通っている知覚神経の伝達を遮断して痛みを鎮めることを目的として用いられる。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	誤
4	誤	正	正
5	誤	誤	正

【問5 2】

口内炎用薬に配合される成分に関する次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 茵陳蒿湯^{いんちんこうとう}は、構成生薬としてダイオウを含む。
- b. ポビドンヨードは、口腔粘膜^{くわう}の組織修復を促す作用を期待して配合される場合がある。
- c. シコンは、口腔粘膜^{くわう}の組織修復促進、抗菌などの作用を期待して用いられる。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	正
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤

【問53】

咀嚼剤である禁煙補助剤に関する次のa～dの記述について、正しいものの組み合わせを下の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 口腔内が酸性になるとニコチンの吸収が低下するため、コーヒーや炭酸飲料などを摂取した後しばらくは使用を避けることとされている。
- b. 高血圧の診断を受けた人が使用すると、高血圧治療薬の効果に影響を生じたり、症状を悪化させる可能性がある。
- c. 使用期間は6ヶ月以上を目途に長期間に亘って使用することとされている。
- d. 喫煙を完全に止めずに使用することとされている。

1. (a, b) 2. (a, c) 3. (b, c) 4. (b, d) 5. (c, d)

【問54】

滋養強壮保健薬に配合されるビタミン成分に関する次のa～cの記述について、該当するものの正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 炭水化物からのエネルギー産生に不可欠な栄養素で、神経の正常な働きを維持する作用がある。
- b. 体内の脂質を酸化から守り、細胞の活動を助ける栄養素であり、血流を改善させる作用もある。
- c. 夜間視力を維持したり、皮膚や粘膜の機能を正常に保つために重要な栄養素である。

	a	b	c
1	ビタミンB ₁	ビタミンD	ビタミンA
2	ビタミンB ₆	ビタミンD	ビタミンC
3	ビタミンB ₁	ビタミンE	ビタミンC
4	ビタミンB ₆	ビタミンE	ビタミンC
5	ビタミンB ₁	ビタミンE	ビタミンA

【問55】

次の記述に該当する漢方処方製剤を下の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

体力中等度以上で、のぼせがみで顔色赤く、いらいらして落ち着かない傾向のあるものの鼻出血、不眠症、神経症、胃炎、二日酔い、血の道症、めまい、動悸、更年期障害、湿疹・皮膚炎、皮膚のかゆみ、口内炎に適するとされるが、体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）では不向きとされる。

1. 安中散 あんちゅうさん
2. 小青竜湯 しょうせいりゅうとう
3. 麦門冬湯 ばくもんどうとう
4. 黄連解毒湯 おうれんげどくとう
5. 乙字湯 おつじとう

【問56】

生薬に関する次の1～5の記述について、誤っているものを一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

1. カッコンは、マメ科のクズの周皮を除いた根を基原とする生薬で、解熱、鎮痙等^{けい}の作用を期待して用いられる。
2. ポウフウは、サルノコシカケ科のマツホドの菌核で、通例、外層をほとんど除いたものを基原とする生薬で、利尿、健胃、鎮静等の作用を期待して用いられる。
3. サイコは、セリ科のミシマサイコの根を基原とする生薬で、抗炎症、鎮痛等の作用を期待して用いられる。
4. ブシは、キンポウゲ科のハナトリカブトまたはオクトリカブトの塊根を減毒加工して製したものを基原とする生薬であり、心筋の収縮力を高めて血液循環を改善する作用を持つ。
5. ショウマは、キンポウゲ科のサラシナショウマ、フブキショウマ、コライショウマまたはオオミツバショウマの根茎を基原とする生薬で、発汗、解熱、解毒、消炎等の作用を期待して用いられる。

【問57】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 殺菌・消毒とは、生存する微生物の数を減らすために行われる処置である。
- b. 次亜塩素酸ナトリウムには、金属腐食性がある。
- c. エタノールは、粘膜刺激性があり、粘膜面や目の回り、傷がある部分への使用は避けることとされている。

	a	b	c
1	誤	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	誤
4	正	正	正
5	誤	誤	正

【問58】

殺虫剤に配合される成分とその分類の関係が正しいものを下の 1～5 から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- | 成分 | 分類 |
|----------------|-----------|
| 1. ダイアジノン | ピレスロイド系 |
| 2. フェノトリン | 有機リン系 |
| 3. プロボクスル | オキサジアゾール系 |
| 4. メトキサジアゾン | カーバメイト系 |
| 5. オルトジクロロベンゼン | 有機塩素系 |

【問59】

尿糖・尿タンパク検査薬に関する次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 出始めの尿では、尿道や外陰部等に付着した細菌や分泌物が混入することがあるため、中間尿を採取して検査することが望ましい。
- b. 通常、尿は弱酸性であるが、食事その他の影響で中性～弱アルカリ性に傾くと、正確な検査結果が得られなくなることがある。
- c. なるべく採尿後速やかに検査することが望ましい。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	誤
4	誤	正	正
5	誤	誤	正

【問60】

妊娠検査薬に関する次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 一般的な妊娠検査薬は、月経予定日での検査が推奨されている。
- b. 尿中のヒト絨毛性性腺刺激ホルモン（hCG）の検出反応は、hCGと特異的に反応する抗体や酵素を用いた反応であるため、温度の影響を受けない。
- c. 妊娠の確定診断には、尿中のホルモン検査だけでなく、専門医による問診や超音波検査などの結果から総合的に妊娠の成立を見極める必要がある。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	誤
4	誤	正	正
5	誤	誤	正